（受入承諾書　例／Example of the “Notice of Acceptance” ）

(JSPS Overseas Challenge Program for Young Researchers)

Notice of Acceptance by Host Researcher

I accept the following person sponsored by JSPS as follows.

1) Name of JSPS fellow: Taro GAKUSHIN

2) Research project: Study of Kakenhi

3) Duration:

Date of Departure from Japan				Date of Arrival in Japan		
2023	/ 4	/ 1	～	2024	/ 3	/ 31
(year)	(month)	(day)		(year)	(month)	(day)

4) Position: Guest Researcher

Host Institute: Department of Law, SHINKOKAI University

5) Host researcher: Ichiro KOJIMACHI, PhD

Professor

Department of Law

SHINKOKAI University, United States of America

E-mail: ichiro-kojimachi@jsps.edu

Signature: Ichiro Kojimachi

Date: 2023/2/1

（受入承諾書　例／Example of the “Notice of Acceptance”）

(JSPS Overseas Challenge Program for Young Researchers)

【留意事項】

・派遣先の受入研究者からの受入を証する文書で、**派遣先機関名、受入期間、受入身分、研究課題名**が明記されている書類の**原本**を提出してください。**原本とは、受入研究者の署名入りの書類のことを指します。**コピーは受け付けません。なお、本プログラムにおける署名の考え方は、44ページ「６．よくある質問　問３」を参照してください。

・研究課題名については申請書記載のものと同一である必要があります。

・受入承諾書の書式は任意ですが、受入期間が「～年～月～日から～年～月～日まで」と表記されていることと、研究者が受け入れる期間（派遣地での滞在期間）ではなく、**本プログラムにおける派遣期間**が記載されていることを確認してください。派遣期間の考え方は、1ページ「（２）派遣期間の考え方」を参照してください。

・受入身分については、記載例では、Guest Researcher となっていますが、実際に付与される受入身分を記載してください。

・やむを得ない事情により申請時点の派遣期間（採用内定通知に記載の採用期間）を変更する場合は、受入承諾書には必ず変更後の派遣期間を記載してください。

・派遣期間は、**派遣先機関での滞在日数が９０日以上になるようにしてください。**

・受入研究機関（派遣先機関）及び受入研究者は、原則として変更できません。研究遂行上、真にやむを得ない理由のため派遣先や受入研究者を変更する必要が生じた場合は、必ず事前に本会に連絡のうえ、**「変更願」（様式 10）**を提出してください。**事前に本会の承認を経ずに派遣先機関や受入研究者を変更することはできません。**

・受入承諾書の内容が適当と認められない場合は派遣が認められないことがあります。

・英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳を添付してください。